

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社博展

上場取引所 東

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,882	7.9	154	△49.2	151	△50.3	97	△44.3
25年3月期第3四半期	3,596	25.9	304	97.2	304	63.7	175	3.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.60	27.25
25年3月期第3四半期	51.59	49.75

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,316	1,034	44.6	299.79
25年3月期	2,498	972	38.8	283.92

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,032百万円 25年3月期 969百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	11.7	250	△33.4	245	△35.1	152	△30.6	44.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成26年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、当第3四半期累計期間において新株予約権の行使がされております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該新株予約権行使後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	3,445,000 株	25年3月期	3,416,400 株
26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
26年3月期3Q	3,423,304 株	25年3月期3Q	3,408,000 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
3. 補足情報 .....	6
生産、受注及び販売の状況 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による株価上昇、為替の円安基調等により、企業収益の改善、個人消費の持ち直しが徐々に見られてまいりました。今後更なる景気浮揚に期待が寄せられておりますが、消費税率引上げ決定等、未だ先行きの不透明感は完全に払拭できない状況にあります。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、日本経済の緩やかな回復に伴い、顧客企業における広告宣伝投資、販売関連投資にも復調が見られ、また2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定により、今後の市場の活性化が期待されます。

このような環境の中で当社は、平成25年5月に発表した中期経営計画において策定した新規事業への本格的な進出、「点から線へ、線から面へ」長期的なマーケティングサポートへの取り組み、専門性及び生産性の向上の3つの基本戦略に基づき事業を推進してまいりました。

本格始動した商環境サポート事業、コンファレンス&コンベンションサポート事業、デジタルマーケティングサポート事業では、顧客企業の市場環境の変動に則した各種マーケティング活動へのニーズに柔軟に対応できる体制を構築した結果、新規顧客の獲得、既存顧客からの新規案件の創出等案件数を重ね、実績を増やしてまいりました。

これら新規事業が順調に稼働し始めたことにより、主力事業である出展サポート事業、主催サポート事業との相乗効果も出始め、顧客企業へのマーケティングサポートとしてより付加価値の高いサービス提供が行えるようになりました。

また、更なる高品質なサービス提供ができるよう、商品軸を基本とした組織体制を敷き、各部門がそれぞれ顧客業界研究をさらに深め専門性を強化してまいりました。

同時に、デザイン部門及び制作部門の内部稼働率の向上や外注パートナーとのより効果的な連携によって生産性の更なる向上にも努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、主力事業であるイベント展示会やプライベートショー等の出展サポートサービス及び主催サポートサービスが引き続き堅調に推移したことに加え、新規事業として位置付けるコンファレンス&コンベンションサポートサービス、商環境サポートサービス並びにデジタルマーケティングサポートサービスにつきましても、その事業基盤を確立し新たな収益の柱としていくという事業戦略が順調に推移していることもあり、前年同四半期を2億85百万円上回る38億82百万円(前年同四半期比7.9%増)となりました。

一方、利益に関しては、販促イベントの大型化に伴い全国キャラバン等の地方案件が増加し、外注原価率が上昇していることや、中期経営計画に基づく戦略的チャレンジ案件への取り組み等により、売上総利益については前年同四半期を36百万円上回る12億46百万円(前年同四半期比3.0%増)に留まるに至りました。このため、営業機能強化を目的とした本社リニューアル費用や各事業基盤構築のために必要な人材補強費、M&A関連費用など成長基盤整備のために投じた販売費及び一般管理費増加分を当第3四半期累計期間で回収するには至らず、当第3四半期累計期間の営業利益は1億54百万円(前年同四半期比49.2%減)、経常利益は1億51百万円(前年同四半期比50.3%減)、四半期純利益は97百万円(前年同四半期比44.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態は、資産合計23億16百万円(前事業年度末比7.3%減)、負債合計12億81百万円(前事業年度末比16.1%減)、純資産合計10億34百万円(前事業年度末比6.5%増)となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は18億20百万円(前事業年度末比3億99百万円減少)となりました。これは、売掛金が前事業年度末比3億63百万円減少したこと、及び賞与や税金の支払を行ったこと等により現金及び預金が前事業年度末比70百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は4億95百万円(前事業年度末比2億17百万円増加)となりました。これは、本社事務所リニューアル等により有形固定資産が前事業年度末比54百万円増加したこと、及び翌事業年度より稼働開始予定の新基幹システムへの投資等により無形固定資産が前事業年度末比67百万円増加したこと、並びに関係会社株式の取得等により投資その他の資産が前事業年度末比95百万円増加したことが主な要因となっております。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は7億21百万円(前事業年度末比3億43百万円減少)となりました。これは、買掛金が前事業年度末比1億29百万円減少したこと、及び税金の支払を行ったことにより未払法人税等が前事業年度末比1億68百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は5億59百万円(前事業年度末比98百万円増加)となりました。これは、新規借入が約定返済を上回ったことにより長期借入金が前事業年度末比56百万円増加したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は10億34百万円(前事業年度末比62百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末比56百万円増加したことが主な要因となっております。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月2日に公表いたしました通期業績予想につきまして見直しを行いました。なお、詳細につきましては、本日(平成26年1月31日)、「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	990,970	920,317
受取手形	64,741	78,603
売掛金	996,621	633,432
仕掛品	69,268	47,402
原材料及び貯蔵品	1,928	3,760
その他	100,060	139,235
貸倒引当金	3,019	2,174
流動資産合計	2,220,571	1,820,577
固定資産		
有形固定資産	134,288	188,708
無形固定資産	9,006	76,696
投資その他の資産		
その他	139,584	232,153
貸倒引当金	4,831	1,820
投資その他の資産合計	134,753	230,333
固定資産合計	278,048	495,738
資産合計	2,498,620	2,316,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,606	191,102
1年内返済予定の長期借入金	308,153	333,847
未払法人税等	168,859	-
賞与引当金	118,362	42,304
工事補償引当金	65	-
工事損失引当金	8,099	-
その他	141,225	154,674
流動負債合計	1,065,372	721,928
固定負債		
長期借入金	461,128	518,073
その他	-	41,373
固定負債合計	461,128	559,446
負債合計	1,526,500	1,281,374
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	158,533	161,099
資本剰余金	138,533	141,099
利益剰余金	672,338	729,264
株主資本合計	969,404	1,031,464
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	567	1,323
評価・換算差額等合計	567	1,323
新株予約権	2,148	2,152
純資産合計	972,120	1,034,940
負債純資産合計	2,498,620	2,316,315

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,596,589	3,882,233
売上原価	2,386,692	2,635,756
売上総利益	1,209,896	1,246,477
販売費及び一般管理費	905,519	1,091,979
営業利益	304,376	154,498
営業外収益		
受取利息	25	10
受取配当金	62	67
貸倒引当金戻入額	1,173	895
違約金収入	2,112	900
雑収入	3,273	2,259
営業外収益合計	6,647	4,133
営業外費用		
支払利息	6,253	6,859
雑損失	515	614
営業外費用合計	6,768	7,473
経常利益	304,256	151,158
特別損失		
減損損失	6,029	-
特別損失合計	6,029	-
税引前四半期純利益	298,226	151,158
法人税、住民税及び事業税	105,118	6,579
法人税等調整額	17,300	46,655
法人税等合計	122,418	53,234
四半期純利益	175,807	97,923

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしてありません。

## (2) 受注状況

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	3,749,554	125.9	1,290,528	160.2
合計	3,749,554	125.9	1,290,528	160.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	4,103,913	109.5	1,595,001	123.6
合計	4,103,913	109.5	1,595,001	123.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



## (3) 販売実績

前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	3,596,589	125.9
合計(千円)	3,596,589	125.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	3,882,233	107.9
合計(千円)	3,882,233	107.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。